

[特集：保健・医療・福祉の連携～地域リハビリテーションにおけるチームアプローチ]

訪問リハビリテーション

萩莊則幸

キーワード： 訪問リハビリテーション、地域におけるリハビリテーション (CBR)

Visiting rehabilitation

Noriyuki Ogisho, M.D.

Key words: visiting rehabilitation, CBR

平成12年4月よりスタートした介護保険も2年半が経過した。当時の森首相は「きわめて安定した形でスムーズにスタートしている」と述べていた。しかし、現状は、“走りながら見直す” また、“5年後の見直し”を前提とする、という見切り発車だったと言えよう。とりあえず来年度は介護報酬見直しの年にあたり、報酬体系改訂の検討が現在、社会保障審議会・介護給付費分科会にて行われている。

また、医療機関における診療報酬精度は、増え続ける医療費を抑制するために、この5年間においては、約6ヶ月ごとに“朝令暮改”の如く、目まぐるしく改定されている。その根幹は、“いかに医療費を安く上げるか” と言うことにつきる。特に平成14年4月の改定は、病院、診療所にとっても10～30%の減収となる非常に厳しいものであった。リハビリ部門にとっても同様の大打撃であった。医療をとり巻くこの厳しい環境の中で、地域での診療所の役割は、プライマリー・ケア、ターミナル・ケア、介護保険サービスとの連携業務がますます重要になってきている。

この中で今回、地域におけるリハビリテーションサービスの提供を積極的に展開してきた、当院の現状、特に介護保険における適切な維持期リハビリテーションサービスである訪問リハビリテーションの、地域での連携と問題点について述べた。

萩莊則幸 ゆきよしクリニック院長
[連絡先] 〒950-0122 中蒲原郡亀田町稲葉1丁目4番地3号
TEL：025-382-3450
E-mail：yukiyosi@medical.email.ne.jp